

亀岡市佛教会報

第39号

亀岡市佛教会
(会長 眞福寺 満林 晃典)
令和6年1月15日
発行

年頭挨拶



亀岡市仏教会 会長
眞福寺 満林 晃典

念頭にあたりご挨拶申し上げます。會員の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また、このたびの能登半島地震により犠牲となられた方々に衷心より哀悼の意を表し、被災された方々へ心からお見舞いを申し上げます。

さて、当会は、昨年10月に亀岡市と災害時の避難所提供に関する協定を締結しました。この協定は、寺院が心の安らぎを提供する場所であると同時に、災害時には避難所としても機能することで地域社会に積極的な役割を果たすことを目的としています。寺院が避難所として登録されることにより、地域の方々に安心感を与えるだけでなく、各寺院の防災能力の向上にもつながると考えています。

會員各位の寺院にはそれぞれのご事情があることも理解しております。避難所とまではいかずとも、災害時に境内の井戸水やトイレを利用できる、それだけでも、大きな助けになります。可能な範囲でかまいませんので、一ヶ寺でも多くのご協力をお願いします。

登録についてご不明な点がございましたら、遠慮なくお問い合わせくださいませ。

亀岡市はサッカーサンガの町ですが、仏教サンガの町として、心安らぐ町となるよう取り組んでまいりますので、本年もご協力の程よろしくお願い申し上げます。



亀岡市ヒューマンフェスタ

「防災サンガ」コーナー

好評を博す

令和5年11月19日(日)にガレリアかめおかにて開催されたヒューマンフェスタ2023に仏教会ブースを出展しました。

過去には坐禅体験や子ども向けのパネルシアターを行っていましたが、今回は、「防災サンガ」と題して、亀岡市と締結した災害時協定のPRと、人権や防災知識について学べる内容としました。

亀岡市より、簡易シエルター・段ボールベッド・段ボールトイレの貸与を受け、実際に参加者に体験してもらいました。

能登半島地震の避難所の様子を見る限り、避難者は床に雑魚寝をする他ないような状況ですが、近年は避難者の快適性や健康のために段ボールベッドの導入が進められています。

特に冬場は、床の寒さが体温を奪うので、冷気を防ぐために段ボールベッドは有効です。また、年配の方は、寝起きがしやすく、生活の質が向上し、ベッドは喜ばれます。

今回、実際に触れてみて、多くの人が普通のベッドと遜色ない強度に驚いていました。ベンチとしても使えるので、座りながらお話もできました。

また、災害時の安否確認や連絡ができるアプリ『Meteo LIFE』を使い、主に子ども

を対象に「和尚さんを探せ！」という体験型コンテンツを楽しんでもらいました。

参加者はガレリア内で迷子になった和尚さんをもとに探します。実際に和尚さんを見つけてあげることができれば、声をかけて、写真を撮影して本部に知らせます。

日常では僧侶と接することのない子どもたちが、お坊さんと触れ合うきっかけにもなりました。

今回、100名以上の方に、仏教会のブースを訪れていただき、アプリ体験も約40組のご家族などに参加していただきました。

当会が、災害時に地域の中で貢献できるように取り組みをスタートしていることを、広く知っていただくことができました。

(別紙：京都新聞記事もご覧ください)



参加賞としてオリジナル缶バッジを制作しました。

「成道会法要・坐禅研修」

令和5年12月8日(金)に曾我部町・東光寺にて、「成道会」を修行しました。

ご承知のとおり、禅宗では成道会に際し、臘八撰心という坐禅修行を行います。今回、会員の皆様と共に坐禅をし、また臨済・曹洞の坐禅の違いについて学ぶ機会となりました。

まず、東光寺の宝積玄洋師の導師のもと、成道会法要を厳修。寺宝の「釈尊成道図」を前に法要を営みました。

その後、禅堂に移動し坐禅研修を実施しました。

臨済宗の坐禅は人と人が向かい合ってすわる「対座」スタイル。曹洞宗は、壁に向かって坐る「面壁」が基本です。おしりの下に敷く坐蒲(ぎふ)も、臨済宗は座布団のような四角い形ですが、曹洞宗は丸形です。手の組み方にも違いがあり、坐つ

た時の感じも多少違いました。臨済宗は公案にとりくむ「看話禅」で、曹洞宗は只管打坐の「黙照禅」であると、一般的にその違いが説明されますが、実際に坐ってみて、基本的には同じであることが分かりました。

会員が共に坐り、最後は臨済宗で大切にされる「茶礼」によって会を閉じました。

「茶礼」では皆で一揃に温かいお茶をいただくのですが、臨済宗では坐禅の後に毎回茶礼を行うということですが、ほんのひと時ですが、一緒に修行する仲間・サンガの一体感が高まり和合衆の結束が生まれるように思います。

今回の成道会・坐禅研修は、菩提樹下にて成道なされた釈尊のご遺徳を偲ぶとともに、研鑽の好機となりました。



会場の曾我部町東光寺。禅堂を伽藍にそなえ、一般の参禅者も多いそうです。

